

平成30年度第1回若葉区支え合いのまち推進協議会議事要旨

1 日 時 平成30年6月29日（水）10時00分～11時45分

2 場 所 若葉保健福祉センター3階 大会議室

3 出席者

- (1) 委員 赤間委員、荒木委員、井崎委員、岩澤委員、江口委員、尾出委員、大嶋委員、小川委員、尾崎委員、菊次委員、小出委員、小林委員、酒井委員、佐々木委員、千脇委員、津田委員、角田委員、鶴岡委員、東田委員、長友委員、錦織委員、西村委員、縫部委員、畑委員、花澤委員、工藤副会長（林委員代理）、日暮委員、平井委員、布施委員、真鍋委員、山内委員、山崎委員、和田(勝)委員、和田(文)委員
- (2) 事務局 青木区長、山口保健福祉局次長、富田保健福祉センター所長、浅井地域福祉課長、石毛社協区事務所長、萩原高齢障害支援課長補佐、田中高齢障害支援課主査、加藤地域振興課主査、鈴木社協区事務所副所長、木内高齢障害支援課主任保健師、小泉地域福祉課主任主事

4 議題

- (1) 若葉区支え合いのまち推進協議会正副委員長の選任について
(2) 運営企画委員の選任について
(3) 委員の自己紹介および活動紹介
(4) 平成30年度の年間スケジュールについて
(5) その他 報告事項

5 議事の概要

- (1) 若葉区支え合いのまち推進協議会正副委員長の選任について
本協議会設置要綱第5条第2項の規定に基づき、委員の互選により、津田委員長、赤間副委員長、江口副委員長、縫部副委員長を選任した。
- (2) 運営企画委員の選任について
本協議会運営企画委員会要領第5条第2項の規定に基づき、委員の互選により、津田委員長、赤間副委員長、江口副委員長、縫部副委員長、大嶋委員、角田委員、山内委員、畑委員、布施委員を選任した。
- (3) 委員の自己紹介および活動紹介
各委員から、自己紹介および活動紹介を行う。
- (4) 平成30年度の年間スケジュールについて
平成30年度若葉区支え合いのまち推進協議会スケジュールについて、高齢障害支

援課主査が説明をした

(5) その他 報告事項

地域福祉課浅井課長より、第4期千葉市地域福祉計画の概要説明を行った。

鈴木社協区事務所副所長より、第26号推進協だよりの説明を行った。

6 会議経緯

(1) 若葉区支え合いのまち推進協議会正副委員長の選任について

○事務局

委員改選後、初めての会議なので、委員長、副委員長が選任されるまでの間、議事の進行は若葉保健福祉センター所長が仮議長を務めてよいか。

(異議なし)

○仮議長 (若葉保健福祉センター所長)

本協議会設置要綱第5条第2項により、委員長1名、副委員長3名を委員の互選により選出されることとしているが、いかがか。

○委員 委員長は、前回と同様、津田委員にお願いしたいと思う

○仮議長 (若葉保健福祉センター所長)

委員より津田委員というご推薦がでたが、いかがか。

(異議なし)

○仮議長 (若葉保健福祉センター所長)

続いて、副委員長の選任について、いかがか。

○委員 前回と同様、赤間委員、江口委員、縫部委員にお願いしたいと思う。

○仮議長 (若葉保健福祉センター所長)

委員より赤間委員、江口委員、縫部委員というご推薦がでたが、いかがか。

(異議なし)

○仮議長 (若葉保健福祉センター所長)

平成30年度若葉区推進協議会の委員長、副委員長につきましては、委員長に津田委員、副委員長に赤間委員、江口委員、縫部委員にお願いしたい。

《委員長・副委員長挨拶》

(2) 運営企画委員の選任について

○委員長

本協議会運営企画委員会要領第5条第2項により、10名で構成し、事務局及び委員の互選により選出されることとなっている。何か意見、提案があるか。

(意見なし)

事務局が案を有しているので、提示し協議してよろしいか。

(異議なし)

○事務局

事務局案としては、配布資料のとおり津田委員長、赤間副委員長、江口委員長、縫部副委員長、大嶋委員、角田委員、山内委員、畑委員、布施委員にお願いしたいと考えている。なお、新規での運営企画委員推薦の畑委員におかれましては、民生委員代表（市民児協副会長・若葉区民児協会会長）であることから、また布施委員におかれましては、推進協に長く係わっておられていることから運営企画委員をお願いしたい。

(異議なし)

(3) 委員の自己紹介及び活動紹介について

○委員長

議題（3）「委員の自己紹介及び活動紹介」について事務局より説明願いたい。

○事務局

改選後、第1回目ということもあり、新規、再任問わず委員の皆様から1人1分半程度で、自己紹介および活動紹介をしていただきたい。

○津田委員（地域活動者）

10年前に老人クラブ、3年前に支え合いの組織を立ち上げた。立ち上げには、いろいろな方からご指導いただいた。現在はこの会をどうやって楽しく活力のある活動にするかに腐心している。この会の参加の皆様もいろいろな活動をされて活躍されており、参考にさせていただきたい。

○赤間委員（あんしんケアセンター桜木）

若葉区ではあんしんケアセンターが5つある。高齢化率の高い地域であるが、元気な高齢者が多い地区にしていきたい。

○縫部委員（千葉市社会福祉協議会 結・みつわ台）

人口も所帯数も多い地区で自治会、町内会が40か所ある。支え合いの先進地域にし

たいと思って活動している。支え合いの会がこの3年で、1か所から6か所に増えた。これからまだまだ増やしていきたいと思っている。

○江口委員（千葉市社会福祉協議会 加曽利地区部会）

7町内、2000世帯というというまとまりのいい数で構成されている地区である。加曽利地区に住んでいて、よかったと思ってもらうことを目標にして活動している。毎週月曜日午前中に、集まって様々な議題を討論している。また地域ケア会議を行っている。

○荒木委員（千葉市ボランティア連絡協議会）

障害者や高齢者が健常者と同じようにダンスを踊れるように、車椅子ダンスの普及活動を行っている。県内11支部、市内は2支部で活動。月に7か所（高齢者3か所、障害施設4か所）に訪問をしている。その他安全パトロールや防犯活動を行っている。

○井崎委員（千葉市生活支援コーディネーター）

4月から社会福祉協議会が生活支援コーディネーター業務の委託を千葉市から受け、その活動を行っている。日常生活で支援が必要な高齢者が、住み慣れた地域で生きがいをもって生活していくための必要な支援や介護予防サービスの構築、支援ニーズとサービスのコーディネート機能を担っている。多職種と連携しながらその支援体制の充実強化を行っている。

○岩澤委員（千葉市あんしんケアセンター都賀）。

昨年4月にオープンし、1年3か月が経過。まだ目の前にあるものをこなしていくことで精いっぱいであるが、少しずつ地域の方と顔の見える関係が作れるようになってきた。今後も、地域の方々が住み慣れた場所で生活できるような支援を行っていきたい。

○尾出委員（社会福祉法人 宝寿会 若葉泉の里）

野呂町で泉の里という障害者支援施設において、入所、デイサービス、短期入所などのサービスを行っている。また出先機関として大宮センターを運営。そちらでは、デイサービス、相談支援事業、地域活動支援センターという日中活動を行っている。地域貢献ということで地域の方への支援を行っている。この会議で地域の取り組み聞かせてもらい、とても参考にさせてもらっている。

○大嶋委員（地域福祉活動者）

8年前に4年務めた町内会長をやめてから、市の様々な活動に関わっていた。その一つとして、この推進協会にも、長く関わっている。津田委員長の前任として、委員長を務めた。

現在は地元で、小学生の登下校の見守りと誘導を行う他、千葉東警察署の委託で防犯

指導を行っている。

○小川委員（千葉市社会福祉協議会 26 地区部会）

当地区では防犯活動に力を入れている。大宮台地区で青パトを購入し、朝の小学校の登下校の見守り、昼間は不審者などの防犯を行っている。当地区は商店が少ないため、施設の車を使い、買い物支援をしているが、買い物については町の課題である。

○尾崎委員（千葉市あんしんケアセンター千城台）

昨年度1年間で772件の相談を受けた。全体の65%が介護保険の相談。「お困りの際は介護保険をお使ください」と案内しているが、一方でなるべく介護保険を使わず健康寿命を延ばすということで、地区部会にお邪魔して、健康づくりの話や、体操や脳トレを行っている。センター直営の体操教室を千城台コミュニティーセンター、千城台公民館、小倉いずみ苑、千城台西の県営住宅の自治会館を借りて、自治会館と共催して行っている。今後も皆様と連携しながら地域福祉のお役に立てればと思っている

○菊次委員（千葉市社会福祉協議会 御成台・千城台西北地区部会）

推進協議会に参加して3年目となる。この計画は市で計画して地区部会が参画していると思っていた。地区部会が主体的に、地域の団体と連携して計画を遂行していかないといけないというのを、第4期計画の冊子を読んでわかった。この会議を通して、24地区連の会長さんと話し合う機会も多くなり心強い。今後いろいろな話し合って活動していきたい。

○小出委員（千葉市社会福祉協議会 桜木地区部会）

当地区は、町内自治会20か所あり、4800世帯の地区である。町内自治会と仲良くしており、社協の活動に賛同してもらっているのでとても活動しやすい。昨年、会長以外のメンバーが入れ替わり、とても大変だったが、新しい方も慣れてきて通常の活動ができるようになった。微力であるが頑張っていきたい。

○小林委員（社会福祉法人あしたば中野学園）

この会発足当時から学園として関わらせていただいている。学園は、入所が60名、日中活動者110名いる。放課後児童デイ、グループホームを運営。その他、土気の市民センターに地域活動センター「やさしど」を設けており、通所と相談事業を行っている。

○酒井委員（千葉市社会福祉協議会 千城台東南・金親地区部会）

当部会では、以前から「だだちの会」という有志の会があり、地域で助け合い活動を行っている。庭木の剪定や買い物、病院の送り迎えなど行っており、地域の方から重宝がられている。

○佐々木委員（若葉区町内自治会連絡協議会みつわ台中学校地区）

当自治会では、子供たちと老人と一緒に様々なイベントを行っている。7月の七夕会には、老人会、小学生、中学生、幼稚園児など約80名が東寺山の集会所に集まる。他にも、高齢者と子供が集まるイベントを主催している。水鉄砲、竹とんぼ作りなど、高齢者も子供もとても楽しんでいる。

○千脇委員（若葉区主任児童委員連絡会）

若葉区主任児童委員は、13地区各2名計26名で活動している。2か月に一度連絡会を行い、担当地区の報告を行っている。子供たちが健全に健やかに成長するように、地域の見守りを行い、虐待やDVなど問題があれば行政につなげる役割を担っている。メンバーは仲が良く、団結力もありパワーもあるため、今後とも頑張っていきたいと思っている。

○角田委員（若葉区町内自治会連絡協議会 千城台西中学校区）

千城台24地区自治会連絡協議会の会長を任されている。この会議や、福祉計画を通して、様々な地域の団体が連携していくことを期待している。

千城台地区は、小学校統廃合問題があり、その統廃合問題の委員会の会長も任されている。

千葉市は30年以内に大きな地震が起きる確率が全国一位である。地区には避難所が10か所あるため、避難所運営委員会の委員長を集めて、万が一の時に備えて会議を重ねている。地区部会や育成委員や地域の団体の方を集めて、今後について考えていきたいと思っている。

○鶴岡委員（千葉市社会福祉協議会 坂月地区部会）

坂月小学校の登下校の見守りを毎日行っている。少人数の学校であるが、子供たちにもいろいろ悩みがあるようで、機嫌の悪い子や遅れてくる子もいる。そういう子供たちにどう声をかけていいか、どう叱っていいかわからないので、今日案内いただいた大学の講演会に参加したいと思っている。地域のラジオ体操にも参加したいと思っている。高齢者だけではなく、これからの世代を担う子供たちのために私も頑張っていきたい。

○東田委員（千葉市社会福祉協議会 小倉地区部会）

小倉地区部会 第4期の計画は第3期の計画の6項目から3項目に減らし、「子育てしやすい町」、「いきいきサロンの充実」、「見守り活動の仕組みづくり」を重点的に行う予定。助け合いの会は平成24年に立ち上げ、地域で助け合い活動を行っている。現在84名が登録しており、ゴミ出し、買い物代行、通院付き添い、庭木選定などの活動を行っている。毎月30件前後連絡があり対応している。新規の活動として、助け合いの

会で「ふれあい食事会」も7月から開始予定である。

○長友委員（あんしんケアセンター大宮台）

千葉市で一番広い地区を社会福祉士、主任ケアマネ、保健師、ケアマネジャー、事務員6名で対応している。大宮台2丁目は50%を超えており、全体的に高齢化率の高い地区である。また地区全体で、空き家が目立つようになってきた事も、とても気になっている。これらの課題を含めて、地域を支援していきたい。

○錦織委員（社会福祉協議会 更科地区）

地区は農村部であり、地域は広いが、軒数は少ない。地区部会では、敬老会、凧揚げ大会を行っている。地区では子供が少ないが、凧揚げ大会ではたくさんの子供が集まるので、続けていきたいと思っている。

○西村委員（東京情報大学）

東京情報大学看護学部から初めて参加する。大学は30年前に御成台に設立し、看護学部は昨年設立した。学部の目標としては、地域に根差した看護職の育成である。これから老人ホームなどで2年生が実習させていただく。地域の人たちと一緒に学生を育てていただけたらと思っている。私の専門は小児看護学であり、3年前まで東京江東区で訪問看護をしていた。千葉周辺のことはわからないことがたくさんあるので、勉強させていただきたいと思っている。

○畑委員（若葉区民生委員児童委員協議会）

民生委員は若葉区を13地区に分け活動している。環境的には恵まれている地域であるが、高齢者や独居高齢者も増加している。この時期、市の依頼で実態調査を行っており、気になることがあったらあんしんケアセンターにつないで、一緒に活動している。

○花澤委員（千葉市社会福祉協議会 千城小地区部会）

千城小地区部会の会長は任期1年で輪番制となっているため、この会には毎年新しい地区部会長が参加している。地区部会の活動としては7自治会で年間6つの事業と切り餅配布などを行っている。この会の一員として、楽しい福祉を目指して活動していきたい。

○工藤副会長[林委員代理]（若葉区町内自治会連絡協議会 白井中学校区）

今年初めて自治会長となり地域で活動を行っている。様々な会議などに出ることによって、地域ではこのような活動があるのだと知ってとても勉強になっている。自治会長として頑張っていきたいと思う。

○日暮委員（千葉市社会福祉協議会 貝塚地区部会）

地区の主な事業として、11月下旬に芋煮会を行っている。その他、健康セミナー、ジャズ生演奏なども行っている。芋煮会の前日準備では、芋の切り方などで会話が盛り上がる。これも一つのコミュニケーションや人と人との触れ合いだと思っている。こういう事業を通して地域活動を行っている。

○平井委員（植草学園大学）

大学として、今年度から参加する。学校設立から21年目、大学としては10年目になる。学園は地域と連携をすすめて、地域から信頼され、地域と共生する学園づくりということで、共生インクルーシブという言葉キーワードとして展開している。

本学で学んだ卒業生は、幼稚園、保育園、こども園、小学校、特別支援学校の教員、介護福祉士、理学療法士として社会に巣立っている。

社会貢献としては平成25年から千葉県生涯大学校としての指定管理者となり、その運営に努めている。若葉区との連携としては、平成25年に連携協定を結び、年2回大学がどういうことで地区に貢献できるかを協議している。平成29年度から千葉市拠点福祉避難所の指定を受け、避難所運営訓練を行っている。

リカレント教育として、本日持ってきた公開講座を行っている。興味があるものに参加してほしい。

○布施委員（地域福祉活動者）

民生委員として、平成20年から10年間活動。平成23年から支え合いの会に参加している。民生委員活動と、推進協議会の業務内容とマッチングさせ、両面から福祉の活動を進めていきたい。地区部会にも所属している。地区は買い物支援のニーズがあり。去年の10月から千葉市の援助を受け、「野呂買援隊」の活動を開始している。

○真鍋委員（千葉市社会福祉協議会 若松地区部会）

地区は13の自治会で成り立っており、その中でも1000世帯前後の大きな自治会が3つある。広範囲な地区なので、一堂会して何かを行うというのが困難な地域である。各自治会、町内会に「いきいきサロン」や「ふれあいサロン」をお願いしている。

特色ある活動としては、若松高校2年生を対象に、家庭科の時間に各クラスで「子育てサロン」を開催している。高校生とお母さんとお子さんが輪になって育児について話しをし、そのあと「福祉のこころを育む」というテーマで、民生委員、主任児童委員、社会福祉協議会のメンバーが自分たちの活動を高校生に説明している。

○山内委員（社会福祉協議会都賀地区部会）

都賀駅周辺、都賀、西都賀、都賀の台の地区で成り立っている。

その中の、都賀の台地区は1700名の高齢者。950名の後期高齢者という高齢化率の高い地区である。支え合いの会を10年越しでつくりあげ、昨年地区部会に正式に加入した。都賀の台では50個の活動組織が先進的な活動をしており、この地区の地区部

会をリードしている。在宅介護、在宅医療の時代にどう向き合うか。自治会と協力して活動していきたい。

○山崎委員（千葉市社会福祉協議会 白井地区部会）

以前からこの協議会には関心があり、今回初めての参加となる。第3期計画では、9項目重点項目を掲げ、すべてAの評価という報告をうけた。第4期は4項目の重点目標を掲げている。この推進協議会に、地区の民児協の会長、自治会長などが参加しているので、一緒に計画を推進していきたいと思う。

○和田（勝）委員（若葉区老人クラブ連合会）

若葉区で会長を4年任され、今年から市老連の会長を任されている。老人クラブのうち、市老連に所属しているのは半数以下である。若葉区は1500名の会員がおり、文科系、運動系の活動を行っている。「健康寿命を延ばして元気にオリンピックをみよう」というスローガンで活動している。老人クラブは60歳から入会対象であるが、入会は80代からの人が多い。会を引っ張っていく世代の参加がないのが課題である。

○和田（文）委員（あんしんケアセンターみつわ台）

6月1日にセンターの場所を転居した。広くなり、ゆっくり相談に乗れる。津田委員、縫部委員に協力をもらい、H27年後半から年3回地域ケア会議を開いている。先進的に支え合い活動を進めている地区、今後検討している地区が集まり、有意義な話し合いをしており、職員もとても勉強になっている。皆様のご指導を賜って、地域福祉の推進のお手伝いをしていきたい。

○委員長

自己紹介の中で、各団体について、詳しく聞きたいことが出てきたと思う。今後の推進協議会の中で、事例発表などで詳しく聞いていきたい。今回から二つの大学関係の方が、新しく参加となった。地域への協力について、私達と違う視点での活動の話を知りたい。

（4）平成30年度の年間スケジュールについて

○委員長

次に議題（4）「平成30年度の年間スケジュールについて」事務局より説明をお願いしたい。

○事務局

推進協議会は年4回（6月以下9月、12月、3月）を予定しており、運営企画委員会は推進協議会の前月に行う予定である。また、推進協だよりは7月を予定している。第4期区計画における進捗状況記録票の書式を今回の推進協議会で提示したい。

今回は、以前のように14地区部会エリアからだけの提出ということではなく、14地区部会以外の各委員からのお考えもお聞きしたいという主旨で資料4「地域福祉活動

取組票」の提出をお願いしたい。所属団体、または個人の活動の中で、「現在、取り組んでいる地域福祉活動」、「今後地域で取り組んでいきたい活動・広げていきたい活動」の2点の記入をお願いしたい。

提出には、14地区部会エリアの方は資料3の区計画における進捗状況記録票の提出をお願いし、他の委員におかれましては、資料3か資料4どちらか作成しやすい方での提出をお願いしたい。

記録票等については、返信用封筒にて8月中旬に若葉区高齢障害支援課まで郵送願いたい。その後、9月末予定の第2回推進協議会で各委員から発表していただこうと考えている。

○委員長 ただいまの説明に対しまして、何かご質問、ご意見等があるか。

(質問なし)

○委員長

資料4について、今までは14地区部会のみが計画書を出しており、他の参加者がその発表を聞く形であったが、今回からそれぞれの団体が、活動を発表することで、それぞれの活動について意見を出し合ってもらいたい。

(5) その他 報告事項について

○委員長

報告事項として、地域福祉課 浅井課長より説明をお願いしたい。

○浅井地域福祉課長

「支え合いのまち千葉 推進計画」に沿って、計画の概要を説明する。

この計画書は、民生委員、自治会、地区部会、社会福祉法人、公民館、小中学校に配布した。

背景として、千葉市の人口は、平成32年度をピークに減少をする見通し。現に3区では減少。千葉市501町丁のなかで、高齢者人口が5割を超えている町が14つある。4割を超える町は81町生じている。世帯状況の変化、認知症の問題。障害、生活保護などの状況、生活課題の複合化の問題が生じている。地域福祉活動に参加した人2割。機会があったら参加したい6割あり関心は持ってもらっている。

第4期は市のこのような状況を踏まえて作成していただいた。

4章は好事例、5章は各区の具体的な計画、6章で市の公助の取り組みを掲載している。7章は地域の取り組み、社協、市の施策をテーマごとに掲載している。資料編に、保健福祉の相談窓口、地域交流スペースの一覧を掲載。具体的な活動を進めるための手引きとして、現在活動している方、今後、地域福祉活動に関わろうと思っている方にも活用してもらいたい。

○委員長

自分達の団体が今後行っていききたい事柄について、直接担当部署に相談してよろしいか質問したい。

○浅井課長

ぜひ相談してほしい

○委員長

次に推進協だよりについて、社協より説明をお願いしたい。

○鈴木副所長

「しあわせのまち若葉第26号」ということで両面刷りの広報紙を作成した。表面は、平成29年度の推進協の開催報告として、5つの事例発表をし情報共有したことを掲載。裏面は、第4期計画に対して、各地区部会で取り組む重点項目を案内。14地区部会エリア、対象町名を記載し、自分の住む地区がどのようなことに取り組んでいるかわかるようにした。7月中に発行を予定している。各自治会、各公共機関に配架、配布予定である。

○委員長

各地区部会で掲載してもらいたい要望があれば、スペースや時期を見て反映させてもらえるか

○鈴木副所長

そのような要望があれば、スペースなどを調整して、掲載していきたいと思うので情報提供をお願いしたい。

○委員長

全体を通して質問等はあるか

(質問なし)

○委員長 質問がないようなので今回の議題は終わらせていただく。

○事務局

第2回の推進協議会は9月の下旬を計画している。日程が決定したら、改めて通知したい。

閉会